

令和6年度 徳島市富田中学校 総括評価表

自 己 評 価			学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策		
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	学校関係者の意見			
学力向上 生きる力 課題解決 能力の育成	生徒一人ひとりが「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践をめざす。	評価指標 ○一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供している。 ○到達度等に応じて指導方法や教材を工夫し、わかりやすい授業を心がけている。 ○授業実践の中で振り返りの場を設定している。 ○チョークの色やスライドの配色に気を配っている。	評価指標の達成度 A 67.0% B 30.0% C 3.0%	総合評定 (評定) <h2 style="text-align: center;">A</h2>	◇個人の自主性を尊重した取組に評価する。 ◇ホワイトボードミーティングや卒業プロジェクト等の取組の成果が結果に出ている。	◇本年度教育DX推進校として、1人1台端末を活用しながら、個別最適な学び・協働的な学びの充実に取り組んできた。次年度も生徒が主体となった授業のあり方を模索し、実践していく。
		○ホワイトボードを取り入れるなど、級友との対話を意識した授業を取り入れている。 ○授業や意見発表会などで表現の場を取り入れ、工夫している。 ○教科ならではの見方・考え方を育むことにつながり、何ができるようになるかを意識した指導と評価に取り組んでいる。	A 63.0% B 33.0% C 3.0%	(所見) 昨年度と比べると、全体的に十分に達成できた(A)と答えた教員が多く、教育DX推進の効果があった。また多くの職員研修に取り組むことで教職員の意識が高まった。授業においても指導方法の幅が広がり、子どもの興味・関心を高めることにつながっている。教員の指導スキルの向上はもちろん、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の指導と評価に関する研究を継続して進めていく必要がある。	◇重点目標はよく考えられており、更に強化してほしい。 ◇タブレット等のICT機器を効果的に活用し、生徒の興味・関心を高め、集中力の持続につながるよう更に継続し強化してほしい。	◇生徒の特性を来年度にしっかりと引き継ぎ、それぞれの生徒の能力・適性に応じた授業作りを、学力向上推進担当を中心に子ども目線で検討していく。 ◇基本的な生活習慣の定着を図り、前向きな態度で授業作りに取り組んでいけるよう、生徒指導主事や養護教諭と連携を図り、ポジティブな行動支援を図りながら、保護者には様々な角度から協力を依頼していく。
		活動計画 ○デジタル教科書などの活用により映像・音声資料等を指導に生かしている。 ○タブレット等のICT機器での指導効果を高めるため、パワーポイント等による自作教材を工夫している。 ○インターネットを利用した調べ学習などに取り組んでいる。	活動計画の実施状況 ①どの生徒にも授業の進度がわかりやすく振り返りがしやすいため、ユニバーサルデザインを意識した授業を実践している。 ②ホワイトボードミーティング®を取り入れ、自由な発想や多様な考え・意見を出し合い、課題を解決しようとする力や自他の思いや考えをまとめ、書いたり表現したりする場を設けている。 ③タブレット等のICT機器を効果的に活用するなど、生徒の学習への興味関心を高め、集中力の持続につながる授業を実践する。	先生はわかりやすい授業になるよう工夫しているという生徒の声は93%で、学校の授業を理解している生徒は81%であった。 ホワイトボードミーティング®やグループ学習、卒業プロジェクト等自分の意見を発表する取組を実施し生きる力を育む活動の充実を図った。 GIGAスクール構想を積極的に推進し、ICT機器を他のツールと有機的に繋げて効果的に活用した。	◇昨年度より行っているウェルビーイングのための取組を引き続きお願いしたい。	◇生徒にとって「分かりやすい」授業を実現するために、教員のスキルアップにつながる研修を年間を通して計画的に取り組んでいく。
生徒指導 の充実	生徒理解に努め、生徒一人一人に応じた指導の充実を	評価指標 ○ホワイトボードを取り入れるなど、誰もが本音を言える場をつくり、協働しながら個人権課題に向き合う授業に取り組んでいる。 ○日常の学校生活の中で、人権を尊重する態度を身につけさせている。 ○全ての教育活動を通じてコミュニケーション能力や、表現力の育成に取り組んでいる。	評価指標の達成度 A 50.0% B 43.0% C 7.0%	総合評定 (評定) <h2 style="text-align: center;">B</h2>	◇生徒への育成に取り組まれ、子どもたちが躍進する姿が見える。 ◇生徒一人一人への指導の充実が難しい課題と考えるが、出前授業や各講演の開催がウェルビーイングへのきっかけとなっている。	◇「生徒も教職員もみんなファシリテーターになろう」を合い言葉に、課題解決能力の育成に取り組んできた。次年度においても、ホワイトボードを活用しファシリテーションスキルを高めていく。
		○ケース会議に参加したり個別の指導計画や指導記録を作成したり(確認したり)して、情報を共有している。	A 47.0% B 40.0%	(所見) 本年度ももちろん	◇教職員が学校生活の様々な場面で知り得た生徒	

<p>特別支援教育の充実</p>	<p>図るとともに、特別な支援を必要とする生徒に、きめ細かい指導体制を構築する。</p>	<p>○休み時間や放課後などを利用して、個に応じた補充学習を行っている。 ○校内支援委員会・関係機関と連携して生徒支援・日本語支援など、個の困難さに応じた指導を行っている。</p> <p>○学んだことをふり振り返りながら、新たな学習や生徒への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行っている。 ○出前授業や講演など体験的な教育活動を計画的・効果的に行っている。 ○あらゆる教育活動において、キャリア教育の視点を取り入れた評価・改善を行っている。(キャリアパスポートの利用等)</p>	<p>C 13.0%</p> <p>A 53.0% B 37.0% C 10.0%</p>	<p>せいこ先生を講師にホワイトボードミーティング®を取り入れた。校訓「友愛・自律・互敬・互譲」の精神を生徒それぞれに理解させるとともに、「誰もが幸せをになるために」を考え、対話を重ね生活の中で実践できるよう学校をあげて取り組むことができた。</p> <p>全ての学級において、特別支援教育の視点が活かされるよう、生徒理解に重点を置いて、組織的に取り組むことができた。</p> <p>(株)WOTAの前田瑤介さんに出前授業に来ていただきアントレプレナーシップ(起業家精神)を図った。</p>	<p>◇人権を尊重しながら意見を出し合い、学びを深め、社会に出てからも差別を解消する実践力をもった子どもの育成を特に進めていきたい。</p> <p>◇生徒・教職員・保護者・地域が一丸となって学校教育目標の達成のためにしっかり取り組めたものと評価している。</p> <p>◇学校に登校することが全てではないが、生徒への寄り添いや学校への提案など難しい課題の中でこれからの学校の取組に期待したい。</p>	<p>の情報を、生徒に関わる全ての教職員にできるだけ速く伝達することができ組織作りを、生徒指導主事を中心に整備していく。</p> <p>◇全ての教職員が「WITH」の精神をもって教育活動が送れるよう、生徒に寄り添う時間を確保し、校務分掌の見直しや行事の精選を図っていく。</p> <p>◇特別支援教育コーディネーターを中心に、目の前の生徒に最適な支援を実践できるよう、教員のスキルアップが図れる研修をしていく。</p>
<p>家庭・地域との連携協働</p>	<p>家庭・地域との連携を図るため、学校の取組を積極的に広報し、保護者や地域の方々の理解と協力のもと、教育活動を実践する。</p>	<p>評価指標</p> <p>○学年・学級の各種通信、メール配信を積極的に活用し、情報発信を行っている。 ○学校ホームページの更新や閲覧を日頃より意識し、最新の学校情報の共有に努めている。 ○家庭訪問や電話連絡をこまめに行い、保護者との連携を深めている。</p> <p>○日頃から、保護者や地域の方に積極的に挨拶をしている。 ○保護者や地域の方々からの理解を得られるように各種行事への参加など積極的に連携を図っている。 ○保護者や地域の方が参加しやすくなる日程で学校行事を計画・運営している。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>A 60.0% B 37.0% C 3.0%</p> <p>A 57.0% B 33.0% C 10.0%</p>	<p>総合評定</p> <p>(評定)</p> <p>A</p> <p>(所見)</p> <p>徳島市防災訓練や御神輿・もちつき大会等に参加し地域とのつながりを深めた。</p> <p>子どものことを大切に考えてくださる地域や保護者の人に対して、学校での様子をホームページや学年便りを年間通して発信することができた。</p>	<p>◇地域との連携に努力され参加も積極的に数値に表れており、良い傾向である。 ◇開かれた学校づくりを引き続き協力願いたい。</p> <p>◇これからも多くの地域行事に参加できるようお願いしたい。 ◇生徒について、勉強面に課題があるものの、学校が取り組んでいる各項目については生徒達へ十分に伝わっているものと判断できる。</p> <p>◇保護者もホームページ等の情報公開やウェルビーイングの学校の取組をしっかりと評価している。 ◇新町・富田・昭和の各地域と連携が取れた取組ができないか。</p>	<p>◇広報活動としてホームページの更新を昨年より増やしたり、ふれあい健康館と連携して、生徒作品を展示し、保護者や地域の方に見ていただいた。また、各地区の祭りや三世代餅つき大会の参加、徳島市防災避難訓練の参加、校区周辺の巡視など地域の方々との交流の機会をもった。幼小中地域の方々との地域連絡協議会においては生徒の実情を理解していただき、生徒の見守り体制の協力をいただいた。今後さらに地域と学校との連携を深め、子どもの成長に積極的に関わっていただけるよう工夫していく。</p>
	<p>活動計画</p> <p>①学校の情報を積極的に発信し、開かれた学校づくりを行う。</p> <p>②各種学校行事において保護者や地域の方々と協力体制を築こうと努力している。</p>	<p>活動計画の実施状況</p> <p>学校ホームページの更新を適宜行い情報発信に努めた。</p> <p>案内文書に加えてホームページ掲載やミニコミ誌への配信を実施し、周知・広報を行った。</p>				